

あの手この手

2016
8月号



【市民活動にこの人あり】第5回
2012年にネパールを訪問した時
の伊藤さん(右)とOKバジさん

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

第109号 2016年8月10日 大和市民活動センター 拠点やまと 発行



「家から見えるダブル花火大会」矢嶋頼登さん(緑野小4年)

2016年度の表紙は、笹倉鉄平版画ミュージアム主催の第7回やまと子ども絵画大賞で入賞した作品を掲載します。テーマは「好きな！楽しみな！学校での地域での行事」。今号は、「最優秀賞」を受賞した作品です。

矢嶋頼登さんのメッセージ

うちのベランダからは花火大会の花火が見られます。それだけでもうれしいのに、同じ日にちがう場所でやっている花火大会を2つ同時に見れるので、うれしい気持ちも2倍になってとくした気分になります。

第73回・第74回 共育(ともいく)セミナー

薬&薬局との上手な付き合い方

共育セミナーとしては異色?のテーマですが、縁あって薬剤師の方から、薬と薬局との上手な付き合い方について、2回に分けてお話いただくことになりました。

熊本地震の支援に行った体験から、災害時にカルテが失われたときにお薬手帳が大きな役割を發揮した例などご紹介。また、薬の服用の仕方や保管、ジェネリック薬品についてもお話いただきます(第1回)。

さらに、病院の「門前薬局」から顔の見える「かかりつけ薬局」への転換を国としても進めているなか、気軽に相談できる窓口として期待されており、薬剤師の仕事などもお話いただける予定です(第2回)。

日時: 9月17日(土) 14:00~16:00

薬との上手な付き合い方

~薬の基礎知識~

10月15日(土) 14:00~16:00

薬局との上手な付き合い方

~気軽に相談できる顔の見える関係~

講師: メディスンショップ西口駅前薬局薬剤師

岡崎久代さん(店長)・井上芳子さん

会場: 大和市民活動センター(大和駅南口下車2分)

会費: 無料(各回先着25名)

申込: 当センターまで(電話 046-260-2586)

備考: メディスンショップ西口駅前薬局さんは、11/12~13のカッコフェスタに参加・出店し、骨量・脳年齢・美肌年齢の測定を実施予定です。

「無念」上映会＋被災地から学ぶ防災

第72回共育セミナー 7月17日(日) 大和市勤労福祉会館 ホール



アニメ映画『無念～浪江町消防団物語』上映会を開催しました。その後「被災地から学ぶ防災」をテーマに熊本地震の支援に行った3人の方にお話をうかがいました（下記にお話の一部をご紹介します）。

午後からは同会場で中高生の夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ！」のオリエンテーションを開催。終了後は中高生を対象に再度「無念」を上映。最後に午前話のあった外出時の防災心得の一部を中高生にも紹介しました。

●一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク 市原信行さん
災害対応に対する考え方として「自助・共助・公助」が言われますが、公助が来るまでに、ときには数十日かかることもとあります。水や食料の備蓄は3日分では足りません。日常的にも食べるものをなるべく多めに買っておくなど、自助の力を高めたいと思います。

●NPO法人 よこはま・七つ星 高松清美さん（写真左端）
被災地では女性の立場からの支援も欠かせません。トイレ・下着・生理用品など十分な配慮が必要です。また自宅に防災グッズを備えていても外出時に災害に遭遇することもあります。レジ袋は、骨折時のアームホルダーやベストなど多目的に使えるため、是非持ち歩いてください。

●デイサービスゆらり大和施設長 野間康彰さん（写真右端）
被災地周辺にはテントなど意外に在庫がありました。被災した人は、先のことを考えそうそう買えなかったのです。また、物を送って支援すると現地の物が売れなくなるといった問題もあります。そこで、支援の方法として、なるべく現地で物を買って提供するようにしました。

「このゆびとまれっ！」オリエンテーション

当日は、中学生4名、高校生18名、計22名のボランティア希望者が来場。受入団体から順次オリエンの後、11団体のブースに分かれて登録しました。当日来られなかった希望者も13名。その後個別に対応して受け入れました。



「出張！ボランティア総合案内所」を開催しました

7月19日(火) イオンモール大和

多くの方がボランティア募集情報の掲示板に目を止め、21名の方が個別に相談をされていました。



引地川水とみどりの会はOGも応援に駆けつけた

お気軽に！ 定例相談日

- ◆市民活動相談＝8月8・22日(月)・9月12日(月) ※毎月第2・4月曜の10～17時
 - ◆ボランティア相談＝8月13・27日(土)・9月10日(土) ※毎月第2・4土曜の10～17時
 - ◆パソコン相談＝8月9・23日(火)・9月13日(火) ※毎月第2・4火曜の14～17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

OKバジさんは我が人生の師

【市民活動にこの人あり】第5回

認定NPO法人いきいきフォーラム草の根支援 **伊藤俊郎さん**

2007年は伊藤俊郎さんにとって人生の転機となった年だ。1941年に生まれ、高校卒業まで奥会津に育った伊藤さん。東京で大学を卒業後、いすゞ自動車にエンジニアとして就職し、定年まで勤め上げた。在職中は開発や生産管理に携わり、トヨタ流「カイゼン」の伝道師として全国を回っていたことも。定年後は、地元の自治会活動には参加したが、国際貢献や市民活動とは無縁だった。あるとき、同窓会で知り合った高校の先輩に誘われ、たまたま参加したのがOKバジさんの帰国報告会だった。

OKバジさんこと垣見一雅さんは、1990年ヒマラヤトレッキング中に雪崩に遭い九死に一生を得たが、同行したネパール人ポーターは亡くなってしまった。92年彼の住んでいた村を訪問。そのあまりの貧しさに、高校の英語教師の職を辞し、93年山奥の小さな村に単身移住し支援活動を始めた。ランブといろりの生活をしながらあちこちの村をまわり、困っていることを聞き出す地道な活動だ。毎年ネパールの雨期に当たる5月～8月は帰国し、全国各地で報告会を開催し支援を呼びかけている。バジさんを通じてネパール支援をしている国内の団体は20に及び、伊藤さんが聴いた報告会を開きたいいきいきフォーラム草の根支援もそのひとつだ。

報告を聴き伊藤さんは衝撃を受けた。「異国に住み込み困った人々の話を聞いて、シロウトなのになんとかしようとして実際にそれを実現できているのはすごい。まさに現場に学び『カイゼン』している」。こうして伊藤さんは同会に参加。翌年には大和で帰国報告会も開催。さらに同年11月にはネパールを訪問した。ちなみに同会は毎年訪問団を送っているが、すべて自費だ。毎月5000円ずつためれば4年に1回は訪問できるという。そして2012年には2度目の訪問を果たし

た。伊藤さんは「『人は人によって人になる』というが、バジさんはまさにそれを実践している人。援助を通じて人間的にもどんどん大きくなっている。私にとって人生の師です」と語る。3度目となる今年11月の訪問を楽しみにしている。

会では、現地で栽培しているネパール紅茶イラムティの販売でも学校建設の支援をしている。これまで大和で約400人に買ってもらう40万円を売り上げ、仕入原価半分として20万円分の支援をした。実は学校（教室）は20万円あればできるので、すでに大和市民の力で学校がひとつできた計算になる。伊藤さんは、市内でもっとバジさんのファンを増やし、人を思いやる気持ちを広げ、さらに支援していきたいと言う。今後はいろんなグループに出向き、イラムティを振る舞うことを考えている。近いうちに、あなたの会にも、おらかな風貌と人柄の伊藤さんが、ふらりとやってくるかもしれない。



▲学校の落成式で感謝の印に帽子をプレゼントされた伊藤俊郎さん



イベント・募集情報



地震対策・家の修繕講座(シリーズ2回目) 家の簡単な修繕なら自分でしませんか?

いつ発生するかわからない大地震。この講座では、正しい知識と技術を習得して、家の簡単な修繕なら自分でできるようになることを目指します。なお、この事業は、大和市の市民活動推進補助金を受けて実施しています。

日時：8月20日(土) 13:00～16:00
会場：大和市民活動センター(大和駅南口より徒歩2分)
内容：①正しい家具転倒防止の方法講習
②ガラスフィルムの貼り方実習
③網戸の張り替え実習
④電動工具の使い方実習
会費：500円(材料費など) ※通常は3000円
主催・申込：ハウスメンテ大和/茂木 TEL 046-267-1599

平成28年度 大和市平和都市推進事業 「戦後70年 一番電車が走った」上映会

原爆投下後のわずか3日後、1台の路面電車が焦土の広島を走り始めた。70年前の実話をもとにNHKがドラマ化。戦地に赴く男性の代わりに路面電車を任された少女運転士を黒島結菜さん、全線復旧に向けて奔走する電鉄マンを阿部寛さんが好演。なお、上映前にヒロシマ平和学習派遣事業の報告会も開催されます。

日時：8月28日(日) 13:30～16:30(開場13:00)
会場：大和市保健福祉センターホール(鶴間駅下車徒歩5分)
会費：無料
主催：大和市・大和市平和都市推進事業実行委員会
申込：大和市国際・男女共同参画課 TEL 046-260-5164
市のホームページからも申込可。保育あり(要予約)

GOOD NEWS だいちちゃん 渡米して手術成功!

重病の拡張型心筋症に見舞われていた「だいちちゃん」こと迫原大輝ちゃん(1歳)の心臓移植手術が7月15日に無事成功しました。12日に渡米し、14日に移植待機者リストに登録したところ、なんと数時間後にドナーが見つかるという幸運。発症からちょうど1年後の同じ日でした。

当センターも「だいちちゃんを救う会」設立時に相談を受け、全面的に支援をしてきました。それだけに、この朗報はうれしい限りです。おかげさまで募金額は3億円を突破しましたが、3億2000万円の目標にはまだ達していません。引き続き、寄付のご協力をよろしくお願いたします。

「センター」のある日ある時

7月19日(火) / 晴れ

赤ちゃんがボランティア?!

イオン大和で開催した出張ボランティア総合案内所に、30歳代の若いお母さんが赤ちゃんを抱っこして「この子と一緒に何かボランティアが出来ないでしょうか?」と立ち寄ってくれました。赤ちゃんのかわいさに他のスタッフが駆け寄り抱き上げると、まわりから「かわいい」の連発!(左ページ写真参照)。「お年寄りとのふれあいを」とデイサービスをすすめました。施設から「大歓迎です」との返事をいただき、スタッフ一同当日が待ち遠しいです。

